

# カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

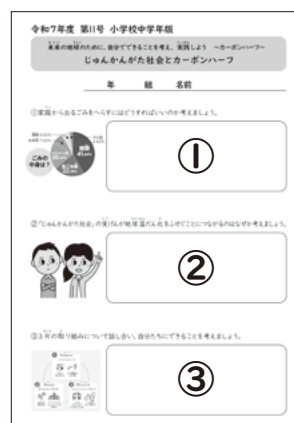
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

## カーボンハーフスタイル 推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～  
じゅんかんがた社会とカーボンハーフ

### 表題




### ねらい

- ・日本のごみの実態を知り、自分たちにできることを考える。
- ・循環型社会の考え方と循環型社会の実現が地球温暖化対策につながることを知る。
- ・3Rの取り組みについて、自分たちにできることを考える。

### 本教材で扱う 主な内容

日本のごみの量と中身、循環型社会、循環型社会と地球温暖化対策、3Rの取り組み

### 主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○推進資料①を見て、ごみの量やごみの中身について考える。	○グラフを基に、ごみの中身について考えるよう声掛けをする。 ○家庭から出るごみを減らすためにどのようなことができるか質問する。	◆掲示用教材① ワークシート① ■広報東京都 こども版 <a href="#">街を守るごみ処理の仕事</a> 
○推進資料②を見て、循環型社会の考え方を理解する。 ○循環型社会の実現が地球温暖化を防ぐことにつながることを知る。	○「ものを捨てず、繰り返し使う」という循環型社会の考え方を説明する。 ○循環型社会の実現がなぜ地球温暖化を防ぐことにつながるのか質問する。	◆掲示用教材② ワークシート②
○推進資料③を見て、3Rの取り組みについて知る。 ○3Rの取り組みについて話し合い、自分たちにできることを考える。	○3Rの取り組みについて、事例を示しながら説明する。 ○身近なことから取り組むことが大切であることを説明する。 ○イラストを参考に、自分たちにできる3Rの取り組みについて考えるよう声掛けをする。	◆掲示用教材③ ワークシート③ ■一般社団法人産業環境管理協会 <a href="#">小学生のための環境リサイクル学習ホームページ</a> 